

新型コロナワクチン接種後の肉眼的血尿

川口市立医療センター
腎臓内科 **横手 伸也**



腎臓疾患の一つに、20~30年かけて末期腎不全となる可能性があるIgA腎症があります。これは国の難病に指定されている疾患です。以前は人工透析になる原因疾患の第1位でしたが、最新の医療では発症から3年以内に治療することで、約9割の患者が寛解（病気の症状がほぼ消失した状態）を期待できるようになりました。このIgA腎症の患者が新型コロナワクチンを接種すると、肉眼的血尿（肉眼で確認できる赤黒~褐色の尿）が出る症例が、日本腎臓学会から報告されています。

新型コロナワクチン接種後の肉眼的血尿の特徴として、①ワクチン接種後2日以内に起こる ②2回目以降のワクチン接種後に多い ③自然に改善する ④比較的若年者に多い ⑤女性に多い などが分かっています。IgA腎症と診断されていないかたでも、新型コロナワクチン接種後、肉眼的血尿が比較的早い段階（2日以内）で見られた場合は、IgA腎症が隠れている場合があります。前述のとおり、IgA腎症は、進行すると腎移植や人工透析のリスクが高まりますが、早期発見と適切な治療により改善が期待できますので、新型コロナワクチン接種後に肉眼的血尿が見られた場合は、腎臓内科の受診をご検討ください。



知っておきたい 性感染症の正しい知識

梅毒感染者の報告数は増え続け、令和4年に、現在の統計方法になって以来初めて全国の感染者数が1万人を超えました。今年に入ってから梅毒の感染者数は、依然として増え続けている状況です。性感染症は梅毒のほかに、HIV感染症、性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症、外陰腫カンジダ症などがあります。

▶性感染症から身を守るには？

性感染症の感染のリスクは、誰にでもあります。自分の問題として、きちんと考えておくことが重要です。

- 性感染症は性交渉(セックス)で感染します
性的接触により、病原体に感染した血液や精液・膣分泌液を介して、皮膚や粘膜の小さな傷から侵入して感染します。オーラルセックス(口膣性交)やアナルセックス(肛門性交)でも感染する場合があります。
- 気になる症状があれば医療機関へ
性器のかゆみ、ブツブツ、おりもの増加など気になる症状があれば医師の診察を受けましょう。
- 感染リスクの低い性交渉を選択しましょう
不特定多数や、見知らぬ相手との性交渉をしないことも予防のために重要です。
- 性交渉の時はコンドームの正しい使用が有効です
コンドームを正しく使用することで感染のリスクを減らすことができます。予防の意思を相手にきちんと伝えることが大切です。

▶12月1日は世界エイズデーです

令和4年における全国の新規HIV感染者は632件、新規エイズ患者は252件で前年と比べ減少しています。近年、保健所などへの相談件数が減少しており、社会のエイズに対する関心の低下が懸念されています。

▶性感染症の検査を受けましょう

性感染症は無症状であることが多いものの、早期発見・早期治療することにより、感染者自身の重症化、パートナーへの感染や母子感染を防ぐことにつながります。感染の心配があった場合は「早めの検査」がとても大切です。保健所では月1回(第2木曜日)、無料・匿名の性感染症検査を実施していますのでお気軽にご相談ください。 →24ページ

問疾病対策課 ☎048-423-6726 FAX048-423-8852

イベントスケジュール

3日(日)
第41回川口マラソン大会
青木町公園総合運動場(スタート・ゴール会場)

16日(土)
多文化ふれあいフェスタ
フレンドシア →8ページ

27日(水)~31日(日)
スーパースターフェスタ2023
川口オートレース場 →27ページ

8日(祝)
川口市はたちの集い
リリア、川口西公園 →14ページ

川口市 広報課 職員による
ちょっとくだけた!? 市政情報番組
85.6 MHz City Information
FM Kawaguchiで放送中
放送日: 平日の10分間...10:00、13:50、17:50、20:00

LINE ID @kawaguchi.city
川口市 公式アカウント
※かわがき広報メールと同じ内容の受信も可能

暮らしに役立つ ぜひご利用ください
きらり川口情報メール



郷土史会を支える情熱者

川口市郷土史会
相談役 **櫻井 國敏さん**

「自分がまだ知らないことを研究し、発見できるのが楽しい」と穏やかな表情で語る。川口市郷土史会で、長年にわたり川口の歴史文化の保存・普及に務めてきた功績が認められ、川口市文化三賞「第15回川口市芸術功労賞」を受賞した櫻井さん。

かつては、そこまで歴史に興味を持っていただけではなかったが、当時の会長からの誘いで郷土史会へ入会。「歴史ウオークなど、歩きながら名所を巡ることができるようから、健康のためにもいいかな」という軽い気持ちだった。しかし、自分が生活してきた場所なのに知らない歴史がたくさんあると気が付いたことをきっかけに、次第に歴史研究に興味を持つようになった。

その後は理事を4年、副会長を10年務めた後、前会長から指名を受け会長に就任。6年間務めた。会長就任時には「川口の歴史、偉人の再発見」を掲げ、会員のニーズに合わせた「歴史散歩」や「歴史講座」を中心に事業を展開。また、人と人の関わりが希薄になってきた中で、気楽に参加できるように「サロン化」を目指し、会員相互の交流機会も増やしていった。

会長職は企画からイベントの運営までを一手に担うなど、重責のしかかる。「良い企画をしなければ会員は満足しない。会員の関心がどこにあるのかを常に考えていた。年に数回だったイベントも月に1回はやる」と決めた。「歴史散歩」ではルート決めや下見などのほか、当日の資料作りは毎回30ページにも及んだ。「今まで資料や論文を書くために集めた文献は数千冊。専門書に関しては図書館よりも豊富じゃないかな」と誇らし

げに微笑む。

その他、さまざまな要望に応えて「市内見学ガイド」を行うなど、魅力の発信に大きく貢献してきた。「歴史に興味がある人は多いが、ガイドを行える人は会の中でも数人しかいない。今後もっと増えてくれると嬉しいですね」と期待を口にすると、会長退任後は相談役として、陰ながら会の運営を支えている。

「人間、楽しみや目標がないとね」と語る櫻井さんの今の目標は、「生まれ故郷である信州の偉人をはじめ、埼玉川口の偉人を題材に本を出版すること」。郷土の歴史が次世代に受け継がれ、大切にされることを願い、その熱き思いの火はこれからも絶やさな

